

大森地区優秀作文



税金の使い道

大田区立大森第二中学校 三年 岡村 宇一郎

暑い日の続いた今年の7月のある日曜日、私の家の前の道路が陥没していました。直径5センチくらいですが、その穴の周囲が70センチほど凹んでいて車が通る度に穴が広がったり凹みが大きくなってしまいました。深さは80センチほどだったそうです。中の広さは見ていないので分かりませんでした。

父が陥没した穴を発見して、注意喚起の為に自宅にあった青いコーンを横に置きました。母が道路緊急ダイヤル「#9910」に電話をしました。しかしその陥没場所はこの連絡先ではなく大田区に連絡するよう言われ、日曜日だったこともあり大田区休日窓口に連絡をしました。そこで場所や詳しい状況を話すとすぐに担当の方が見に来ることになりました。その後担当の方が工事業者に連絡をして発見から5時間後には穴の中に砂利などを入れてアスファルトで蓋をしていきました。後日改めて本格的に原因を調べて工事をするそうです。

その日の夜母が言ったことに私は驚きました。「こんなに早く対応してくれるなら、大田区も正しく税金を使ってくれているんだね。」今日の出来事に税金が関係していると気が付いたのです。そこで調べてみると、

母が最初に連絡したのは国土交通省で、次に連絡したのは大田区の休日窓口で、その後道路課が担当していました。またこの穴の原因が下水管のヒビなどの原因の場合東京都に関わるそうです。つまり全て国や都や区が関わって成り立っているのです。インフラは税金で成り立っていると習いましたし頭では理解しているつもりでしたが、税金がなかったらあの穴が広がり、誰かが落ちてしまったりしても修理してくれないのか!と今回のことで身にしみて理解できました。

普段まっすぐ歩ける道や、きれいな水がでる水道や、毎週ごみを収集して処理してもらえることや、毎日通っている学校も税金を使ってできているんだと改めて思い知る機会になりました。

まだ中学生の私はこのようなことに気づかず生きてきたのですが、改めて考えてみるとあらゆるところに税金が使われており、それがないととても生きづらくなるということがよく分かりました。また働いて沢山の税金を払ってくれている大人の人がすごく立派だなと気づきました。自分たちもあと何年かしたら働いて納税する立場になります。わたしはその時まで今回気づいたことを忘れないで、正しく税金が使われていることに感謝をしながら納税できる世界を続けていけるような大人になりたいと思います。